

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」

ベイサイドエリア「象の鼻会場」
灯台アートワーク参加者を募集

募集期間：4月13日(月)～6月30日(火)

制作・展示期間：8月5日(水)～9月27日(日)

財団法人横浜開港150周年協会は、横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」のベイサイドエリア「象の鼻会場」に展示される灯台アートワークの参加者を、4月13日(月)より一般募集いたします。

「未来へ出航する横浜を見送る灯台」を作品テーマに若手アーティストや創作意欲のある方などから作品募集を行い、Y150アートプロデューサー日比野克彦氏監修のもと、応募作品の中から10作品を選定します。その後、選ばれた10作品は、8月5日(水)から日比野克彦プロデューサーと協同して制作し、「象の鼻会場」に展示いたします。未来を担う若者に、開港からの150年間を振り返り、横浜の未来を考えながら、横浜開港150周年を象徴する美しい灯台作りを行っていただきたいと思っています。

様々なデザインの灯台アートが象の鼻会場を彩り、夜間は横浜の海が照らされ、幻想的な空間が広がります。

【応募概要】

- ◆作品テーマ：「未来へ出航する横浜を見送る灯台」をデザインしていただきます。
 - ◆応募資格：アマチュア限定。個人、グループは問いません。
 - ◆応募条件：
 - ・会場での制作が原則
 - ・作品によっては、日比野アートプロデューサーの監修により、デザイン・構造等の変更への了承が条件(展示中の安全面の検証も含む)
 - ◆応募方法：実物作品をイメージできるスケッチを灯台アートワーク参加者募集係に提出。
※デッサン、作品解説を添付することも可能です。
 - ◆スケッチ：〒231-0001 横浜市中区新港1-6-3
送付先 財団法人横浜開港150周年協会 灯台アートワーク参加者募集係 宛
 - ◆応募期間：4月13日(月)～6月30日(火) ※当日消印有効
 - ◆発表方法：日比野克彦アートプロデューサーらが10作品を選定。財団法人横浜開港150周年協会サイト(www.yokohama150.org)にて、7月中旬頃発表。発表後、当選者にご連絡いたします。
 - ◆制作・展示期間：8月5日(水)～9月27日(日)
 - ◆作品数：10基
 - ◆主催：財団法人横浜開港150周年協会
 - ◆問い合わせ：「Y150コールセンター」(9:00～17:45、土・日・祝日を除く：4月27日(月)まで)
(9:00～22:00、土・日・祝日を含む：4月28日(火)～9月27日(日)まで)
- TEL:045-414-0103 FAX:045-414-0104

【作品規定】

- ◆作品サイズ：横100cm、奥行き100cm、高さ200cmの空間に収まる作品とします。
※制作するための基礎は支給します(1000×1000×H100mm程度のコンパネベース)
- ◆構造・素材：構造・素材は自由ですが、野外設置を前提とした構造・素材でお願いします。
※作品の展示には荒天時等、運搬及び設置作業や展示に際して、支障があると考えられる場合、特殊装置等を用いたものなどは展示不可能と判断します。また、夜間演出用のエコランタンを設置できる構造とします。(エコランタンは支給)
※ランプは太陽光による蓄電タイプで暗くなると点灯、明るくなると消灯するものを予定。
1チーム3万円(事務局支給)。
材料、機材は応募者の持ち込みとなります。(事前審査あり)
- ◆著作権：著作権は制作者に帰属しますが、「灯台アートワーク」並びに「横浜開港150周年記念テーマイベント」の印刷物、HP掲載など広報に関する著作権使用の権利は主催者が有するものとします。
- ◆個人情報：応募から選定・展示など一連の活動における個人情報の取扱いについては、灯台アートワーク参加者募集係で管理し、登録及び連絡業務以外の目的で使用することはありません。
個人情報保護に関しては上記一文に同意されたものとして、お申込みを受付させていただきます。
- ◆作品返却：展示作品の引き取りは自己負担となります。
- ◆待遇：報酬、交通費、食事等はありません。横浜市民活動保険(ボランティア保険)を適用します。



【象の鼻会場】

アーティスティックな快適オープン空間。

“象の鼻”の呼び名で親しまれる象の鼻パークを会場に、黒船が立体的に浮かび上がるトリックアートや、日比野克彦アートプロデューサー監修による灯台アートワークイベントを開催します。



■本件に関する報道関係のお問合せ先

財団法人横浜開港150周年協会 会場運営部

象の鼻・山下公園会場 運営統括部長 武石 宏

運営課長 山本 栄一 電話：045-222-1570